

平成23年度 第6回作文コンクール①

平成24年1月10日(火) 体育館にて始業式の席上、優秀作品(18編)の表彰式が行われました。

- 1年生 かんだ あずみ ひらた あいな
やまもと はるひ
 - 2年生 こさか ちな ごとう うたは
まきど はじめ
 - 3年生 田中 里沙 野呂 柚葉 原 芹佳
 - 4年生 小田 りか 海住 観月 溝口 葉月
 - 5年生 亀田 智哉 神寄 友香 橋本 悠
 - 6年生 上野 空 龍野 晏季 田中 快知
- ＝青少年育成部会＝

あさみ会報



朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三千夫
松阪市大宮田町 209-4
朝見地区市民センター内
電話 0598-52-0007

2012.02.01 発行
第36号

おさかなをたすけよう

一年 かんた あずみ

きゅうしゅつしたいさくせん
でおさかなをいっばいしたすけ
ました。さいしよはごじょうの
子をたすけました。そのときは
ちよっとドキドキしました。だ
けとってましたのしかつたで
す。たもてたすけてあげました
ブラックバスはあやかちゃん
のバケツにいれてもらいまし
た。バケツがなかったのでも
っていたところ、あやかちゃん
が、「バケツにいれてあげよ
う。」と、いってくれてうれし
かったです。ザリガニをたすけ
てあげたかったですけど、いろん
ないきものであえてうれし
かったです。とろんこになって
ちよっといやだったけど、ま
ががあつたからよかったです。
ひがんばながあつてちよつ

とこわかつたです。でもたの
しかつたです。たいようくん
とあやねちゃんとはだして
さかなのおやどにながして
あげました。さかなのおやど
でげんきにすこしてくれた
らしいとおもいます。川はさ
いしよはこわいとおもつて
たけどこわくなくなつたです。
これからあさみちくにい
るんなさかなとしせんをの
こしてほしいです。らいねん
もまたげんきにがしてあ
げたいです。

さかなのいのちを たすけよう

一年 ひらた あいな

きょうはきゅうしゅつたい
さくせん。たんののちいき
のかたにきてもらいました。
わた しはバケツをもつ
てこなかつたので、みゆちゃ
んのところにいれさせても
らいました。まりあちゃんも
バケツにいれました。あるい
て、「こんど日曜たら、は
やくはいたい。」って、い
っていたけど、はいつたら
「キヤー。」って、いってま
した。せんせいが、「はしをね
らう」といよ、「と、いって
いました。とれたのはちいさ
いザリガニでした。こうちよ
うせんせいにもりあちゃん
が、「おおきいのをとって。」
といいました。とれたのはブ
ラックバスでした。それはお
さかなをたべちゃうさかな
でした。せつかくたのんだの
に・・・。つぎこそお
いきのきとつね。二ねんせ
いになったら、おさかなを
いっばいとりたな。おさかな
ちがくらせるようなまちに
したいです。ちいさいのしか
とれなくてさんねんだつた
けど、たのしかつたです。

さかなをきゅうしゅつ

一年 やまもと はるひ

そらくんが、「バケツをいっ
しよにつかおう。」といつて
さそつてくれました。しもな
なみのつうがくろのところ
にひがんばなが、ちみだいに
さいていました。タイコウチ
がめちやくちやくとれました。
ちよっとブラックバスがほ
しくなりました。それからす
つとタイコウチがとれまし
た。そらくんといっしよにし
ました。そして、「そらくん
が、「かめ おつた。」とい
たのでびつくりしました。メ
ダ力はちよびつとしかとれ
ませんでした。みんながふか
いところにはいつていたの
で、はいつてみたら、「めち
やくちやくちやくとおほれそ
うになりました。つちのなか
にはまりそうになりました。
ザリガニはちよちちいのし
かたれませんでした。またす
いろにもどすのがたのしみ
です。二ねんせいになつても
できるとうれしいです。さ
かなのおやどはまたにぎや
かなつたとおもいます。

ぼつさいくんれん

二年 こさか ちな

けむりの中を通るくんれん
をしました。けむりの中はど
んなのかなと思つて入りま
した。そうしたら、まっ白で
何も見えませんでした。出口
のところに行つたらまちが
えて、出口の右がわに行つ
てしまつてぶつかりました。
おにいさんが、「ここだよ。」
と言つてくれたから出れま
した。本当にこんなことがあ
つて家から出られなくなつ
たらたおれてしまつたので
わいです。じしんがおこつて
たすかつたら休みの日には
うさいくんに来てくれた
ちいさのみなさんやしょう
ぼうしさんのおかげです。



ぼつさいくんれん

二年 こさか ちな

十二月四日ぼつさいくんれ
んがありました。けむりの中
を通る体けんをしました。わ
たしは体けんをすこしまつてす
すんで行きました。そうし
たら下はけむりがうすかつた
のです。こし前が見えました。
さいこししようぼうしさん
から話を聞きました。「けむ
りの中を通る時は、体をまげ
て行つたほうがいい。」と言
われて、わたしはできていた
だのでうれしかったです。本
当に火があつた時に体を
上げるけむりをすいこん
でたおれてしまつてです。
本当の火じのときにも体を
下げてすすんでいきたいと
思います。

ぼつさいくんれん

二年 まきど はじめ

十二月四日ぼつさいくんれ
んがありました。さいしよ。け
むりの中を通る体けんがあ
りました。つぎに五、六年生
が音があつたから白いすべ
りだみだいなものからすべ
りてくるのを見ました。すこ
くがなばつていたと思いま
した。つぎに三年生がじしん
のくんれんをしていてるこ
ろを見ました。すこいと思
ました。わけは、しんど五弱
とか六弱とかでたからです。
もし本当にじしんがあつた
ら、つくえの下にかくれて
おさまつたらほくはにけま
す。つぎにがれきんの中から
をたすけるくんれんを見ま
した。あのおじさんたちをす
こいと思ひました。わけはあ
んなに大きな木をはこんで
いたからです。



(さかな救出作戦)



(第7回朝見地区ふれあい防災訓練)

朝見のいっしよ

三年 田中 里沙

わたしは朝見は大すきです。
わけはみんなやさしいから
です。わからないことはおし

災害時協力企業(事業所)の紹介

《朝見地区内の各事業所と災害時の救出作業の協力協定を行っています》
(大宮田) 茂谷工務店・大徳建設株式会社・上川運送株式会社・JA 松阪農機セン
ター (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設・葵クレーン
(佐久米) 小林ファームライスセンター (立田) 宝山石油株式会社・中尾木材有
限会社・株式会社ミック・鍛冶春建設有限会社・さくらテラス (古井) 有限会社
松井工務店・榊産業有限会社・エムエフマツモト有限会社・岡田園芸・株式会社サン
力機工 (新屋敷) 第一産業株式会社 (上七見) 鈴木農産・(筒橋本) 電機・奥村
農産 (和屋) ススキ産機有限会社・溝口土建・井上組・有限会社安達建設

えてくれるし、けがをしたら
助けてくれるからです。学校
の行きと帰り道るときにあ
いさつをしてくれてすこい
うれしいです。だからわたし
はもっとあいさつしたいと
思ひます。みんなと遊ぶのも
楽しいです。わけはすこく楽
しいし、おにだつちされて
もあとで助けてくれるから
です。しゅきょうのときはわ
からないときも、「教えて。」
と言つたら、おしえてくれて
つてもうれしかったです。
みんなも教えてくれたから
こんどわからないときは教
えてあげたいと思ひます。楽
しいところもうれしいとい
つもあつていいと思ひま
す。これから楽しい学校に
したいと思ひます。

第6回作文コンクール③

小学校生活を振り返って

六年 上野 空

朝見小学校での生活はとも思い出がたくさんありました。五年の時に始まった花いっぱい運動、五六年で協力しあってフロンターに土を入れて花を植えたりしました。地域の人が来て花を配るのは全学年で取り組みました。地域の人は花を渡したら「ありがとう」と、お礼を言ってくれました。地域の人にはみんなやさしい人で感動しました。そして今年も去年のを引き継いで花いっぱい運動をする事になりました。今年もたくさん地域の人が喜んでもらいたいと思います。小学校生活で六年間いっしょにいた友達との思い出がたくさんあります。何度かけんかする事もあったけど、みんな仲良く過ごしてきました。だからが誕生日だった時はみんなで祝って、たれかがけがをしたらみんな心配しあってくれました。中学校に行ってもみんなとは仲良くしていきたいと思っています。学校での行事では毎年行っている行事で運動会や文化祭、ウォークラリーなどがあるけど、六年の時に行ったのが一番思い出に残りました。今まで何もせずに楽しんで来たけど、六年になったら色々な準備をしたり、みんなを引っ張っていかないといけないし、成功させないといけないというの思ひ出に残って、出来た時の喜び

なども思い出に残りました。登下校の時、地域の人たちはあいさつをしてくれて、まちがえた事をしていたら、ちゃんと注意してくれたりしました。今、ちゃんとできていくのは地域の人のおかげだと思います。先生たちは一年生の時から六年生まで色々替わっていったけど、どの先生もやさしくてわからないところはちゃんとわかるように教えてくれました。もうすぐ中学生になって、また一年かになるけど、中学でもたくさん思い出を残したいです。



(水路にとまるシラサギ 平成23年撮影)

朝見の良いところ

六年 龍野 晏季

朝見の良いところはあいさつをするとあいさつをしてくれたり、下を向いて歩いていると「べっしたの。」と、声をかけてくれたりするところだと思います。花いっぱい運動をした時に、花を届けに行ったら、「まっとう

たんさ。」と言われて、すこくうれしかったです。がんばってほかの家の届けようという気持ちになりました。花いっぱい運動二〇一でもがんばって届けたいと思います。今、毎日全校児童で苗に水やりをしています。きれいな花がさくように毎日水やりをしていきたいと思えます。朝見地区に遺跡がたくさんあってびっくりしました。土器がでたり、はにわがでたり、人が生活していたところがあるなんてすこいと思えました。もっとうすこい物が出てきたら良いなと思えます。出土してきた物から、昔の生活の様子があきらかになってきています。今とは全然ちがう生活をしていたのすこくおどろかされました。昔よりの今の生活のほうがせいたく生活をしているなど、あらためて思いました。昔の人はすこいなと思えました。

朝見の良いところ

六年 田中 快知

朝見の良いところはたくさんあります。小学校生活でも登下校でも学校行事でも良いところを見つけた。小学校生活では高学年と低学年が仲良く楽しく遊んでいます。交流してサッカーやキックベースをしたりして、みんなが納得出来る遊びをしています。遊んだら遊ぶほど、けんかもあるけど仲も良くなっていきます。登下校では地域の人がすこくあいさつをしてくれました。地域の人とあいさつをすると気分が良くなり、地域の人の笑顔も見られました。学校行事



県道から朝見小学校を望む 平成23年撮影)

では楽しい行事や心をつなぐ行事もあります。運動会はずともかお年寄りまで参加しています。ほくが開会式の司会が終わって退場した時、地域の人から、「よくがんばったなあ。」と、たくさんの人から言われました。終わった後に言われると苦労したけど良かったなと思えました。花いっぱい運動ではたくさんのお花を育てるのは大変でした。けど花を配る日になり、地域の人が配ると、「ただでもらえるの。」と、聞かれました。「ただです。」と、答えると、笑顔とありがとうという言葉が聞こえました。すこく嬉しかったです。文化祭ではたくさんの方が見に来ました。発表の時すこく緊張したけど、終わったらすこい拍手の音が聞こえました。たくさん練習したかいがあったなと思えました。防災訓練ではたくさんの方が参加しています。その日の給食でもある「ぶた汁」もおいに行ったらすこく多めにいれてもらいました。地域の人を作った料理はすこくおいしかったです。そんな優しく楽しい朝見で育ってよかったです。

1. 第5回あさみキッズサッカー教室(朝見幼稚園) みんなで楽しく、パスの練習をする。
2. 津市美里町から視察交流に来朝見! 防災の取り組みから住民協議会まで、質疑応答!
3. 「認知症を理解し、みんなで支えるまち」へ「松阪市高齢者見守り隊結成」へ
4. 陸前高田市 復幸応援センターへ芸能大会から義援金を中川副市長が届ける。
5. 防災の連携で地域力UP! 東部管内防災ネットワーク検討会で協議を重ねる。
6. 幸せの黄色のレシートキャンペーン贈呈金額授与式 19,200 円分還元商品として受け取る。
7. 松阪市防災シンポジウム「その時、あなたは、どうしますか?」に朝見の紹介。
8. 4県連携自主防災組織交流大会に県代表で参加、事例発表やパネラーで意見交換。



(平成23年11月撮影)

あさみキッズサッカー教室パスの練習
平成23年12月7日、パス練習でチームワークを勉強しました。友だちにボールを送る目的に向かってボールを受けやすいようボールをける。一番難しい事もわかりませんがチームプレーの大事なことです。今回は、友だちにパスを出しながら二人

でゴールを目指しました。友だちと協力して、ゴールにボールをキックする。気持ちからすると自分でキックしたい!今日は、私が妨害する役目。友だちにパスをして、妨害を避ける(ボールを取られないように)みんな一生懸命です。走る、ける、友だちを見る、すべて難しいプレーです。しかし、子ども達は確実にプレーを学びます。今回の練習では、味方は誰であるか、その見方に上手にパスをしようにする意識がはつきりと分るようになりました。

津市美里町から視察交流に来朝見! 防災の取り組みから住民協議会まで!
平成24年1月6日(金)朝見地区市民センターにて開催する。津市美里町北長野自治会長関谷 宣征氏始めまちづくりにたすさわる方6名で来られました。まず、自己紹介ののち、田上勉史防災部会長が防災の取り組みを説明。其の後、防災訓練の取り組みやまちづくりの在り方など2時間に及び意見交換会となった。北長野自治会では、住民自ら防災訓練を1月に実施した。



(津市美里町北長野自治会より視察)

自分たちの地域は自分たちで守ろうとの意識で防災訓練。地域における災害状況を想定しながら行われたこのこと。やはり地域で考え取組む防災は地域に即した実効性のあるものとの事。
私たちの取り組みと変わらぬこととは学べることが多いです。避難訓練、炊き出し訓練、救護訓練など知事や市長を招いて行われるなど。関谷会長始め地域の皆様の意気込みが伝わってきます。また、まちづくりについても色々質問がありました。関谷会長から頂いたまちづくりの試案を読ませて頂いて、地域の課題をきちっと整理され素晴らしい内容でした。まちづくりの取り組みに付いて、色々なアイデアは参考に頂きます。私たちにあって、視察に来られる息込み、そのものがすこいと思えました。これからも交流をお願いしたいものです! 質疑応答の中で設立に際しての推進状況を問われました。住民協議会の推進は平成17年度の自治会長から始まりました。自分たちの地区にとって、住民協議会の活動が必要か否

か？。週に2回多い時には3回も協議を開始しました。そして、その協議の進捗状況を逐次住民の皆さんに広報する手段として「あさみ会報」を創刊。また、協議会の活動が、地区に馴染むのだろうか？と準備委員会を設立。9月から年度内(3月)までの事業を実施しました。このような過程を得ながら平成17年に地区内10町へ説明会に出る。内容は、なぜまちづくりなのか？を、スライド説明と質疑応答。設立直前の説明会を平成18年に実施。役員候補者と10町を回る。この時は、各部会はどのような活動をするか具体的に説明。部会を地区区にとって必要な活動を部会名にした。防災、防犯、福祉、青少年育成、地域環境の4部会となった。自分たちで地域の課題を協議してスライドを制作。そして、自らが各町の住民の方々に説明した。沢山の参加者の方が集まった。各自治会長には自治会の会合を開いてもらいそこに便乗して参加率を高める工夫をした。説明会ではアンケートを取り、声なき意見も反映できるように工夫した。住民自治という難しい住民協議会の活動の第一歩を記すことが出来た。

「認知症を理解し、みんなで支えるまち」へ朝見まちづくり協議会
平成24年1月20日19時より朝見地区市民センターにて開催しました。当日は30名の参加者に第4地域包括支援センターより認知症サポーターの学習と松阪市が行っている安心高齢者見守り隊登録の説明があり

参加者が登録を行いました。住民協議会は平成19年度より、福祉部会事業として高齢化社会を見据えて認知症サポーター養成を行って来ました。特に、福祉部会委員に就任された方々を中心に、認知症サポーター養成講座を開催して来ました。本年度5年目を迎え、約80名にのぼる方々が受講、オレシリングを持つ人が出来ました。3.11の東日本大震災など大災害の時を想定すると被災者に対して安心の地域づくるとなります。認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で、85歳以上で4人に1人に、認知症の病状があるといわれています。高齢化が進むにつれて更に認知症は増えて行くだろうと推計されます。朝見地区を考えると高齢化社会になることは間違いありません。生まれ育った町、嫁いで住みなれた町こそ、幸せを満喫できる郷土です。高齢者の方々が安心して住み続けられる町、郷土が大切です。地区あげて見守る地域づくりが大きな課題となって来ました。高齢者安心見守り隊の意義認知症を正しく理解し支援の必要な高齢者や家族



(認知症サポーターの集い)

を、地域のみならず支えて行くこととするものです。
陸前高田市 復幸応援センターへ芸能大会からの義援金を贈呈しました。

平成23年10月22日(土)朝見地区ふれあい芸能大会を開催。その際、景品に防災グッズ(キーホルダー、通行手形、缶バッジ)を購入しました。キーホルダー、通行手形は記念品として福引大会で参加者の皆様へ。頂いた参加者は、陸前高田市の被災に対して暖かい思いを持って頂きました。また、缶バッジは参加者の皆様に購入して頂きました。この購入代金20,000円を陸前高田市中で頑張っている応援センターに贈呈しました。復幸センターは全国青年市長会が復興の為に設置しています。復幸と字の現す通り陸前高田市民の幸せを願って活動をしています。松阪市

に青年市長会市民の皆様への応援が続きます。
12月20日市役所を訪問した折、秘書課より贈呈の様子を写したCD版の写真を頂きました。
防災の連携で地域力UP！
東部管内防災ネットワーク検討会
本年度から5回の防災ネットワーク検討会を開催。東部管内6地区(朝見、榑田、西黒部、漕代、機殿、東黒部)の防災担当のメンバーで来るべき東海東南南海地震の対策として東部管内の広域で対策を練ることがより安心安全の地域づくりとなるとの観点から検討会で協議を重ねて来ました。また、3月11日の東日本大震災を機に防災ネットワークの連携を目指す。東日本大震災は、東部管内の防災の取り組みを根本的に変えなければならぬ事態となりました。次のように項目をあげながら進めていきます。

中川副市長が訪問された折、義援金を手渡しして頂きました。これから東北は冬の厳しい季節を迎えます。陸前高田市の復幸に応援センター



(義援金を中川副市長から復幸応援センターへ)

①情報の共有、交流の体制づくり。
②防災の取り組みの推進。
③連携強化で安心のまちづくり。安心安全の地域づくりを推進。と検討会を重ねて来た。

幸せの黄色の
レシートキャンペーン
贈呈金額授与式
平成23年10月20日(木)13時より市議会棟会議室で開催されました。マックスバリュが社会貢献の一環として行っている「幸せの黄色のレシートキャンペーン」に参加している住民協議会に対し、平成23年4月

9月までの投函レシート金額の1%が商品としてもらえます。今回の贈呈式では、朝見地区の贈呈金額は19,200円となり同金額商品がいただきました。この貴重な金額は、防災訓練のお茶(ペットボトル)で使用しました。黄色レシートに入れて頂きました。皆様のご協力に感謝申し上げます。
毎月11日 マックスバリュ中央店でお買い物をされましたら、朝見まちづくり協議会の箱にレシートを入れてご協力下さい！

が大事であり、これからの高齢社会に向けても、認知症サポーター養成講座にも取り組み、計画的にサポーター養成を行い、地域あげての見守り体制の確立を目指している。防災を始め、防犯、福祉、青少年の育成、環境などの取り組みが、非常時におけるコミュニティの構築になる。顔の見える地域、会話のできる共同体のまちづくり！「安心安全のまちづくり」として更に体制を創って行く！

朝見まちづくり協議会が出演した。朝見まちづくり協議会防災部会の活動を紹介します。住民自らが防災に取り組み、安心安全の取り組みを紹介した。自分たちの地域を運命共同体との意識を持つ事

松阪市防災シンポジウム
「その時、あなたは、どうしますか？」に
朝見の取り組み紹介。
第一部 基調講演
「今こそ自治体の力を」
講師 増田 寛也 氏
第二部パネルディスカッション
「地域防災力の向上を
目指して」
朝見まちづくり協議会が出演した。朝見まちづくり協議会防災部会の活動を紹介します。住民自らが防災に取り組み、安心安全の取り組みを紹介した。自分たちの地域を運命共同体との意識を持つ事

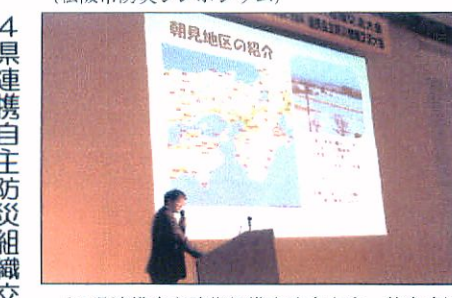


(松阪市防災シンポジウム)

4県連携自主防災組織交流大会に県代表で参加、事例発表やパネルで意見交換。
平成24年1月22日に徳島県徳島市、徳島ランドヒリオホテル 1階「サファイア」で開催される「4県連携自主防災交流大会」に参加する。主催 4県三重県・和歌山県・徳島県・高知県
「とくしま自主防災活動賞」として地元防災組織を知事表彰されました。朝見地区からは、他地域の防災の取り組みを学ぼうと6名が視察研修として参加する。4県連携自主防災交流大会(徳島県)について

目的
東南海、南海地震により甚大な被害が予想される4県(三重県・和歌山県・徳島県・高知県)の共通課題である、4県の自主防災組織同士が交流を図るとともに、今後の継続的な活動を行う中で、有用な事例や先進的な事例を学ぶことで、自らの取り組みに資することを目的とする。
◎鳴門教育大学教授 坂根 健一
◎テーマ
「あきらめない防災」
*無理だとあきらめず最善を尽くす「あきらめない防災」
4県の自主防災組織の活動事例の発表
①三重県 田上 勉史(防災部会長)
②高知県 ③和歌山県 ④徳島県 意見交換
◎コーティネーター(鳴門教育大学 坂根健一)◎パネル
自主防災組織代表者4県◎テーマ
「防災と教育と
地域のきずな」
鈴木 三千夫 事務局長がパネルで参加する。

4県連携自主防災組織交流大会 徳島市
朝見地区の紹介
徳島市



(4県連携自主防災組織交流大会 徳島市)



(眉山から徳島市内 島尻を望む)